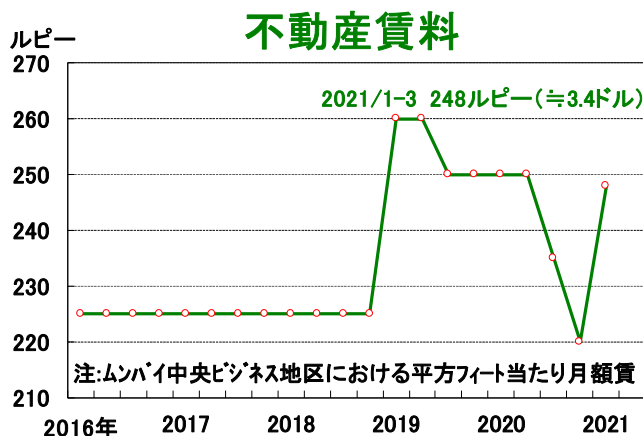
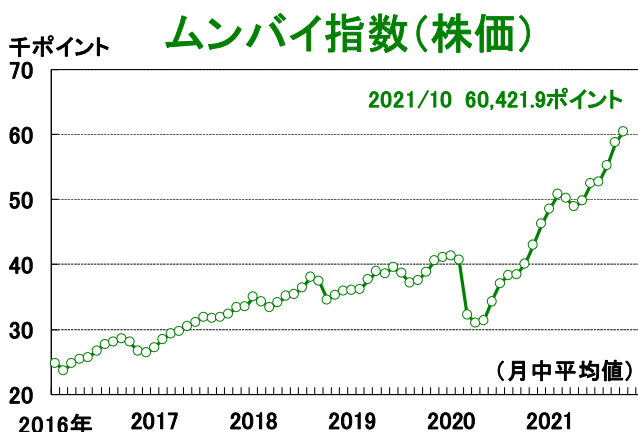
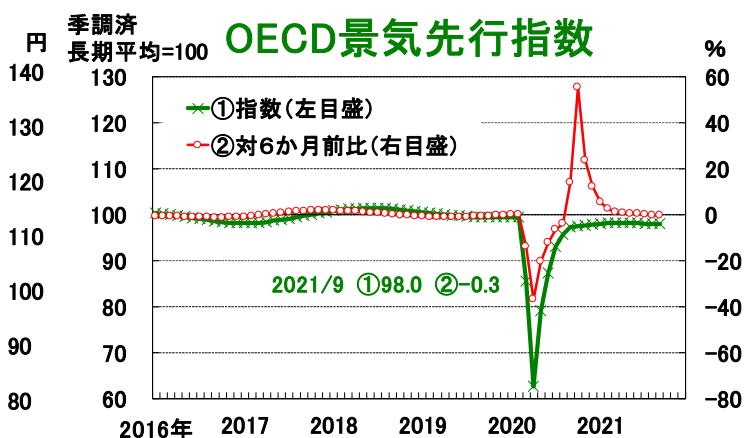
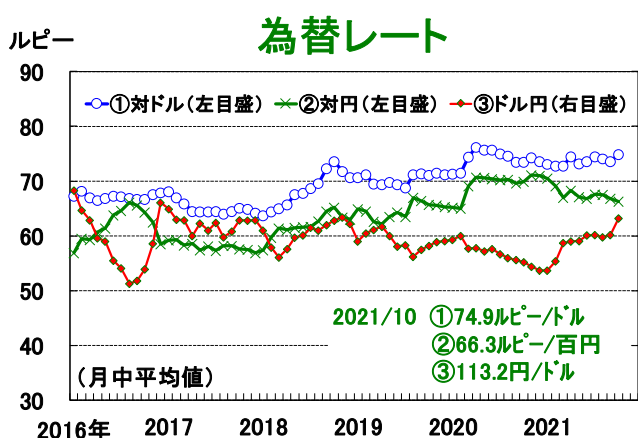
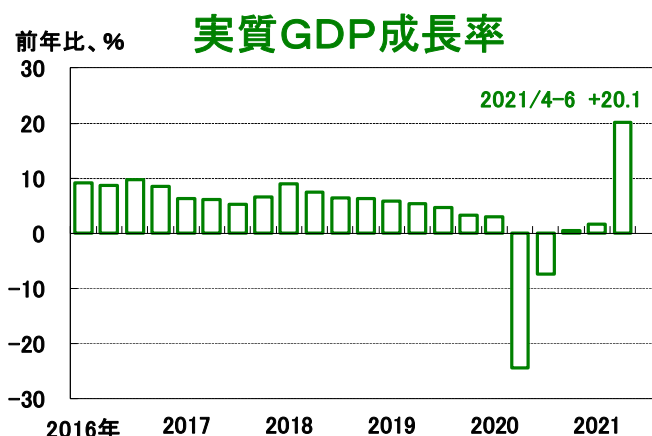
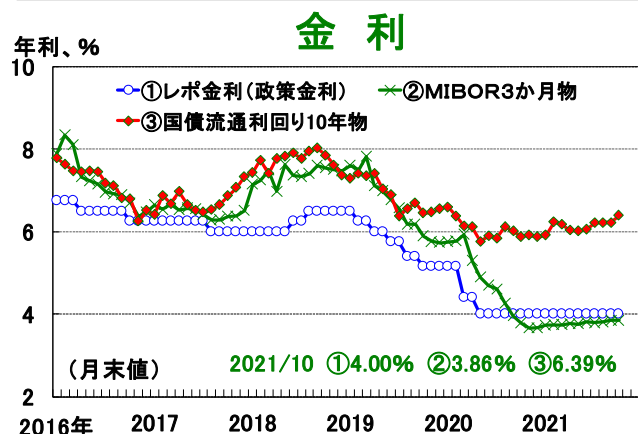
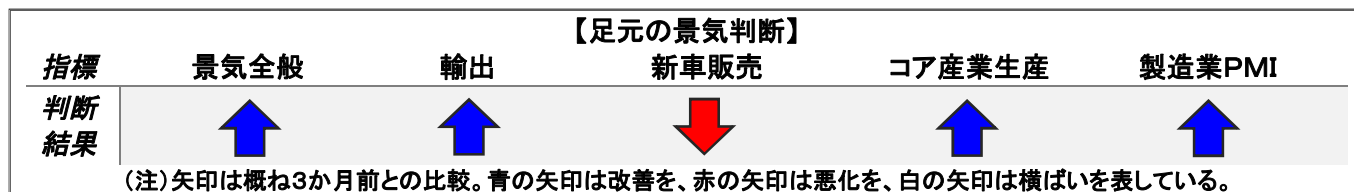


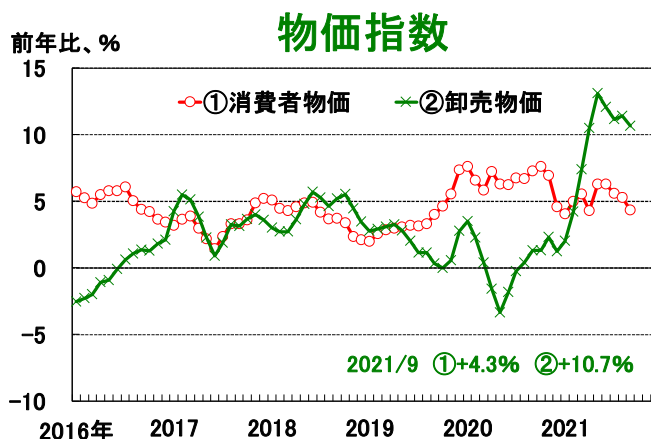
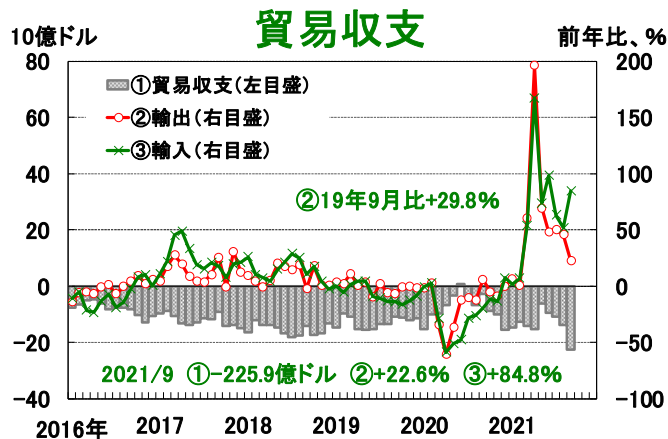
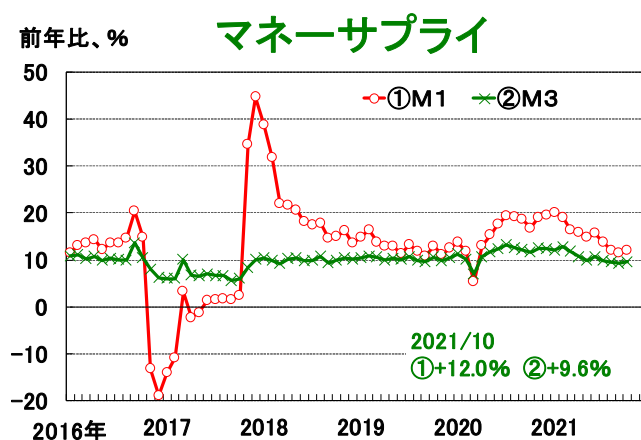
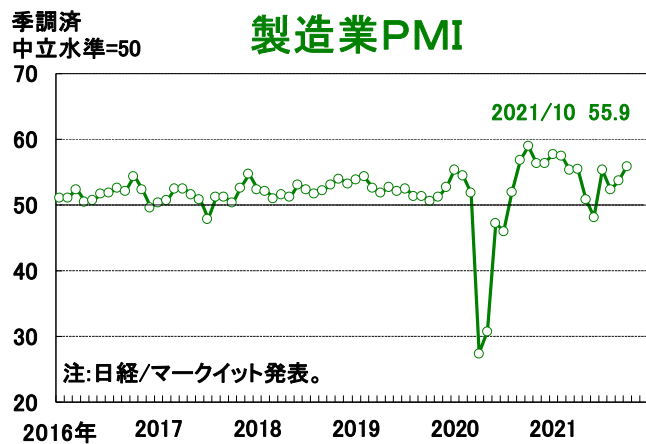
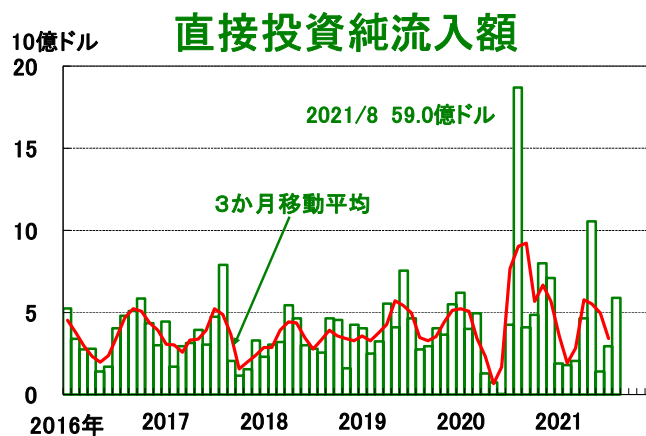
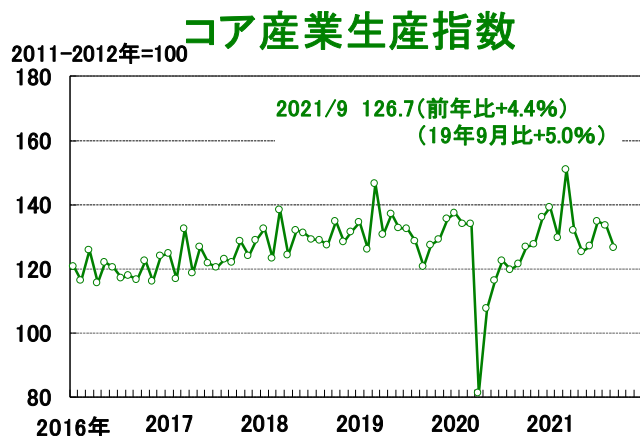
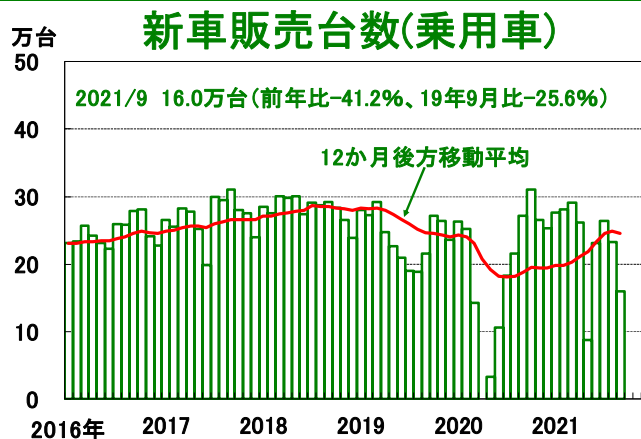
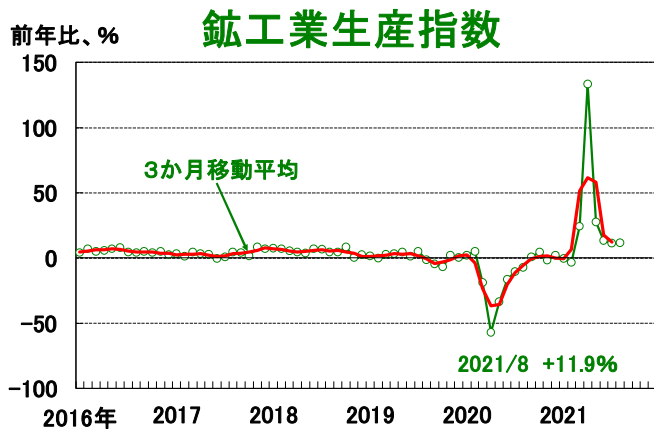
グラフで見るインド経済 2021年11月号(No. 143)

インドの景気は総じて改善基調で推移している。9月の輸出はコロナ流行前の2019年に比べ+29.8%(前月は同+27.4%)と増勢が拡大し、同月のコア産業生産指数も同+5.0%と2か月連続で伸びを高めた。さらに、10月の製造業PMIは55.9(中立水準は50)と8か月ぶりの高水準となった。この背景には、インド国内の新型コロナの新規感染者数が減少していることがある。ただその一方で、9月の新車販売台数は2019年比-25.6%と前月の同+22.8%から大幅に減少した。半導体不足がインドの新車販売の回復に影を落としているとみられる。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。